

新山協ニュース

発行所 新潟県山岳協会
〒951 新潟市下旭町109 鈴木敏雄方 TEL025-222-9548
発行 平田大六

春山講習会に参加して

新潟鉄工山の会

北村 猛

県山協平成6年度最後の行事「春山講習会」が、去る3月18日(土)19日(日)、40名近い参加者のもと、赤谷地区狙倉山を会場に開催された。前日の宿となる「滝谷農村婦人の家」へは、当日午後から開催された理事会の終わる頃から先着組がぼつぼつ集まり、日暮れの6時頃には大半の参加者が勢揃いした。時を見計り安野実行委員長の挨拶で開会、明日の行動予定等の説明があり、続いて行われた講習会は、講師新潟山岳会阿部信一さんによる、雪崩探知機「ピーコン」をテーマに、その必要性、操作取扱説明、実用効果等、現物持参での講習はみんなの関心を呼ぶ。時を待たずやがて迎えた懇親会は、全員の簡単な自己紹介に始まり、それは時間と共に盛り上がり、言うに及ばず夜遅くまで続いた。

翌朝6時起床、外を見ると雪が降っている、せっかく来たのについてないなあと話しながら、各人慌ただしく朝食を済ませ、雨具をつけて車に乗り込む。登山口でシールを取り付け、トロッコ道を横切り、釜ヶ沢林道に乗った台地で、スキー班、カンジキ班共一旦集結した。

8時、スキー班先行で雪降る林道を出発する。新雪のうっすら敷かれた単調な道を辿り、30分位で林道が大きく右に迂回する地点に達する。ここでこれから先の長い林道歩きを省略し、一気に手前の沢から正面の足場の悪い斜面に取り付いた。暫くは雑木林を縫う様な登りが続いたが、だんだん高度が上がるにつれて前方が開け、再び林道にとび出し一息入れる。気がつけばいつの間にか雪も止み、急速に天気は回復し、青空が広がってきた。もう峠も近く、めざす狙倉山の頂上部もはっきり見える。樹木にかかった今朝の雪が、日差しを受けてばらばら

らこぼれ落ちる。春の気配が漂う中、更にスキーを進め、峠を越えると徐々に傾斜も増してくる。長岡ハイクの藤井さんに続いて峽彩の井出さん、午後所用のためここから林道経由で下ると言って別れる。時折り先頭グループの音が上部で聞こえる。じっくり腰を据え、シールを利かせ忠実にシユポールを辿る。広い斜面をトラバースし、更に直上することしばし、急に正面が開け頂上より西走する主稜の一角に達した。もうここまで来れば頂上も間近か。最後の傾斜のきつい山頂ピークはジグザグ登行で登りきる。青空の広がった頂上からの眺望はすばらしく、正に春山を感じさせる光景だった。スキー班全員にカンジキ班数名の指示で昨夜紹介した「ピーコン」の実技講習が行われたが、指名された数名も何せ不慣れのため、雪中に埋められたピーコンを探し出すのにあちこち駆け廻り、戸惑う場面もしばしば。

12時、支度の揃った人から一斉に峠めざして下降を開始する。山スキーの下りはさすがに楽しい。登りに結構難儀したのと思うと、一気に滑り降りるのが勿体なく、ところどころ一呼吸入れながら下り、峠上部でイグルー作りの講習に切り換えた平田大六さん一行のカンジキ班と合流した。

ここからの下りは傾斜もゆるく、気温もかなり上がったため、ストックでの助走が必要かなと心配したが、前走者の滑走した跡にのれば、あたかも電車の軌道を走るが如く程良いスピードで滑ってくれ、30分足らずで登山口に戻る。今日は天候にも恵まれ春山講習会にふさわしい充実した一日だった。最後に今成指導技術委員長より、締めくくりとして閉会の挨拶をいただき3時解散した。

行事担当の方々大変御苦労様でした。

(会報委員)



ハコベ

総体一次上・中越大会報告

三条工業高校山岳部
顧問 吉田光二

今年の上・中越地区大会は三条工高が主管、三条地区が当番として実施した。

昨秋から三条東高の巻機山荘をベースにして巻機山で行うことを決めていたので、降雪前に荷上げ加能なものを上げて準備にあたってきた。

FAXの普及にともなって参加申し込みのほとんどが締切日の午後。これには本当にまいった。

4月19日、残念ながら雨。幕宮等の予定を若干変更して、1mの雪の残る桜坂広場で開会式。参加は15校、総勢183名。

各校に天気図の提出を求め、班長会議で技術指導内容について意思統一をする。

4月20日、5時起床。天候はちよっとした吹雪状態で2cm程度の新雪。上部はガス。

巻機山にむけて6時に出発の予定を1時間遅らせて様子を見ることにする。

天候は少しずつ回復する傾向にあるが、上部での行動は

無理と判断し、8時に威守松山にむけて出発することにす

取り付きの斜面で各班長から雪上歩行訓練をしてもらいながら高度を上げる。

頂上斜面はシュビッツェがやっと入る程度のクラストで風も強い。

雪面を選びながら威守松山(1214m)の頂上に立つ。

下りが心配されたので頂上での休憩を長めにとり、クラストの緩い斜面を使ってキックステップを指導してもらいながら下山に入る。

そして下部では滑落停止の練習と装備チェック。

BCに帰着して、春山らしい天候に戻ったところで雪上幕宮についての講習。そして炊事、天気図作成で一日を終える。

4月21日、予想どりのピリカンだが下山日。時間を借しんで井戸尾根取り付き部で雪上歩行とザイルワークの練習をし、撤収後、閉会式を行っ

て下山する。
今回の運営を担当するにあたって、単なる講習会に終わ

らせず可能な限り頂上を目指させたいと考えていた。
天候に恵まれず巻機山登頂

はできなかったが、逆に、普段は登ることのないであろう威守松山に登らせることがで

第50回国民体育大会山岳競技会新潟県予選会成績一覧表

スタート 順	スタート 時間	所要時間 (秒)	時間得点	技			順位	総合		備考
				重量 減点	反則 減点	合計得点		種目 合計	順位	
1	13:30:00	3993	100.00	0	0	100.00	1	2	1	◎
5	13:35:00	3890	89.97	0	0	89.97	4	5	1	◎
6	13:36:00	3715	94.21	0	0	94.21	2	5	2	
7	13:37:00	3500	100.00	0	0	100.00	1	6	3	
12	13:42:00	4085	85.67	0	0	85.67	8	10	4	
9	13:39:00	3920	89.28	0	0	89.28	6	10	5	
8	13:38:00	3825	91.50	0	0	91.50	3	11	6	
4	13:34:00	3910	89.51	0	0	89.51	5	14	7	
3	13:33:00	4315	81.11	0	0	81.11	9	16	8	
11	13:41:00	6390	54.77	0	0	54.77	11	17	9	
10	13:40:00	3995	87.60	0	0	87.60	7	17	10	
2	13:32:00	5085	68.82	0	0	68.82	10	21	11	
13	13:43:00	4520	-	0	0	-	-	-	-	
15	13:45:00	6300	100.00	0	0	100.00	1	2	1	◎
14	13:44:00	6860	91.83	0	0	91.83	2	4	2	
16	13:46:00	6325	-	0	0	-	-	-	-	

4月29日(土)30日(日)、第50回国体山岳競技県予選会が柿崎町米山山麓で開かれました。大会2日間とも荒天にならず熱戦が展開され、別表の結果となりました。選手団の皆さん、よく頑張りました。地元柿崎町当局、柿崎山岳会及び競技運営役員の皆様、支援協力ありがとうございました。

次は北信越(富山)大会突破です。

第50回国民体育大会 新潟県予選会開催

またし、クラストも、春の吹雪も体験して自然の厳しさに接することもでき、それなりに意義のある大会だったと思う。反面、近年激増している軽登山靴の不安定さ、帽子やアゴ紐の不備などが課題としてあらためて浮き彫りになった。また、まだウッドシャフトのピッケルを使用している学校が多く、しかも手入れがなされていないため破損の危険が心配された。予算が限られているとはいえ、メタルへの更新が必要である。靴にあっても価格面から軽登山靴を求めるとはいたしかたないにしても、2万、3万と高価なものも見かける。2万ちよつと出せば革靴が買えることでもあり、越後の山を指導することを考えるときちんとした指導が必要に思われる。

第16回北信越国体(富山)へ 少年代表チーム決まる

- 少年男子 柏崎工業高校
- 少年女子 三条東高校



平成7年度新潟県民体育大会兼

		踏 査 競 技								
チ ャ ム 名		スタート 順	スタート 時 間	所要時間 (秒)	時間得点	定点 得点	重量 減点	反則 減点	合計得点	順位
成男	岩 広 山 岳 会	1	7:30:00	5435	20.00	75	0	0	95.00	1
少年男	柏 崎 工 業 A	1 2	8:03:00	6558	15.15	75	0	0	90.15	1
	三 条 東 B	8	7:51:00	7991	12.43	75	0	0	87.43	3
	新 発 田	3	7:36:00	5968	16.64	60	0	0	76.64	5
	三 条 東 C	7	7:48:00	7586	13.09	75	0	0	88.09	2
	三 条 B	2	7:33:00	8428	11.78	65	0	0	76.78	4
	三 条 東 A	1 0	7:57:00	8438	11.77	60	0	0	71.77	8
	三 条 A	4	7:39:00	8421	11.79	45	0	0	56.79	9
	柏 崎 工 業 B	9	7:54:00	4968	20.00	55	0	0	75.00	7
	柏 崎 工 業 C	6	7:45:00	6212	15.99	60	0	0	75.99	6
	三 条 C	1 1	8:00:00	7231	13.74	40	0	0	53.74	10
	長 岡 工 業	5	7:42:00	タイムオーバー	0.00	20	0	0	20.00	11
	長岡工業オープン	1 3	8:06:00	8133	-	30	0	0	30.00	-
少女	三 条 東 B	1 4	8:09:00	タイムオーバー	0.00	60	0	0	60.00	1
	三 条 東 A	1 5	8:12:00	タイムオーバー	0.00	30	0	0	30.00	2
	三条東オープン	1 6	8:15:00	8870	-	80	0	0	80.00	-

平成7年度 専門委員会事業実施計画 (アクションプラン)

専門委員会	実施期間	事業名・会議名	会場	担当者
総務	7. 4. 9	評議委員会・理事会	長岡市けさじろ荘	総務委員会
	7. 4. 30	理事会 (国体選手選考他)	柿崎町下牧小学校跡	総務委員会
	7. 9.	理事会 (前後半の行事確認等)		総務委員会
	7.	北信越5県連絡協議会		
	8. 1. 21 日	理事会 (事業計画等検討)		総務委員会
	8. 1. 21 日	新年会		
	8. 3. 土	理事会 (評議委員会に関する事項)		総務委員会
指導技術	7. 6. 17~18	日山協指導委員総会・研修会	東京渋谷岸記念体育館	今成幸夫
	7. 6. 17~18	登山技術講習会・岩登り	新潟市杉滝岩	阿部信一
	7.	B級指導員移行講習会の補講	新潟市	田中栄弘
	7. 7. 15~16	A級指導員移行講習会	新潟大学	田中栄弘
	7. 11.	指導員研修会	新潟市	三富一弥
	8. 3.	春山講習会 山スキーも兼ねて		安野正弘
遭難対策	7. 4~7月	遭難防止啓蒙活動	山開きの地元山岳会に依頼	遭難対策委員会
	7. 6. 24~25	日山協対研究会議委員総会	大阪	
	7. 7. 12~13	全国山岳遭難対策協議会 遭難救助講習会	北海道 未定	遭難対策委員会 遭難対策委員会
	8. 1. 20前後	新潟県遭難対策会議 テーピングを主とした講習会		遭難対策委員会
自然保護	7. 6. 17~19	白神山地森林生態系調査		
	7. 5. 20~21	第20回自然保護指導員研修会	(昆虫)	桑原悌治
	7. 10. 21~22	日山協全国自然保護指導員総会	茨城県	
		第21回自然保護指導員研修会 日本山岳会自然保護指導員総会 県内の山のし尿処理の研究会	新潟市	桑原悌治 県3人、協会2人
中高年登山	7. 9. 6~8	文部省・日山協中高年安全登山講習会	愛知県	中高年登山委員会
	7. 9. 9~10	第5回県山協登山教室	金北山~ドンデン山	中高年登山委員会
国体	7. 4. 2	日山協国体委員会総会		森 庄一
	7. 4. 29~30	第50回国体新潟県予選会兼新潟県体育大会	柿崎町米山山麓	国体委員会
	7. 5. 中~5. 下	北信越5県代表者会議	富山県	国体委員会
	7. 5. 下~7. 27	国体合宿 北信越	富山県平村上平村	国体委員会
	7. 7. 28~30	第16回北信越国体	富山県平村上平村	国体委員会
	7. 9. 頃	第50回国体監督会議		監督 高橋一郎
	7. 9. 頃	競技水準向上ヒアリング		
	7. 8. 1~10. 上	国体合宿 福島県	福島県只見町檜枝岐村	国体委員会選手団
	7. 10. 上	第50回国体結団式		森 庄一
	7. 10. ~10.	第50回国体	福島県只見町檜枝岐村	国体委員会選手団
	7. 12. 上	第50回国体反省会		国体委員会
	7. 12.	国体解散式		国体委員会
	7. 12. ~12.	新潟県コーチサミット		国体委員会
	8. 1. 20 土	県体育協会新年会 競技力強化研究協議会 北信越審判員研修会	新潟市イタリア軒	国体委員会 国体委員会 指導委員会
クライミング				
海外登山	7. 4. 27~5. 9	信越山荘完成記念ツアー	中国青海省	藤井 信
	7. 6. 3~4	日山協国際部総会及び海外遭難対策研究会	秋田	田中純夫
	7. 6. 23~7. 3	カムチャッカ遠征	山名はトルバチュク	藤井 信
	7. 7. ~	中国青海国際高校生登山交流大会	中国青海省	
	7.	中国への遠征		阿部信一
	7.	信越(東北)地区海外登山研究会	(岩手県)	田中純夫
	8. 2. 18~19	日山協海外登山技術研究会	鯉八王子「大学セミナーハウス」	東樹義夫
	婦人	8. 3. 24	親睦登山	国上山~弥彦山
会報編集	毎月1回	新山協ニュース第98~109号	5日原稿締切20日発行	杉本 敏
資格会費徴収		有資格者の会費徴収		杉本 敏

平成6年度指導員研修会報告

「登山中の事故遭難の時

リーダーの刑事 民事責任は」①

指導委員会 三 富 一 弥

平成6年11月20日新潟市万代市民会館に於いて指導員研修会が開催された。

最近の登山事故に際してリーダーの責任が法的に問われる事が多くなった。指導員として又は登山中のリーダーとして、いかなる方法や対応しなければならぬかを、弁護士、和田光弘氏に講演をお願いしました。以下概略を報告します。

登山という行動には前もって事故が起こるかも知れない危険が存在していて、それをお互いに認めあって行動するのだから、たとえ事故があったとしてもどちらも責任が無い。後で責任を追求するくらいなら登山などしなければよいのだ。そうしたお互いの同意が前もってある以上、法的責任の追求は問題にならない。したがって法的責任を追求して罰するとしても、罪の要素は少ないと考えられていた。

法的責任とは、刑事責任と民事責任がある。

刑事責任というのは、国家が個人の罪を国家責任で、個人にどのような罰を与えるか。人によつて罰を異なる。いわば国対個人の裁判になるわけ、国の代表者は検察官で個人は裁判になれば被告人となる。

弁護士は被告人の立場で守るべき権利、主張を代弁して弁護人として就く。最終的に決着をつけるのは裁判官で、個人として責任を問われる。登山では指導者リーダーとして、法廷に立たれて刑事上の刑罰を受けるかどうかという立場に置かれる事になる。

刑法という古い法律が有りまして、明治に出来た法律で、漢字とカタカナ混じりの法律で、現代の言葉に直そうとしています。199条殺人罪は人を殺したる者となつていますが、同じく死亡をまねく、例えば登山における死亡の条文は刑法211条 業務上過失致死罪 これは交通事故で人を死亡させた場合でも業務上が問われる。

「業務上必要ナル注意ヲ怠リテ因ツテ人ヲ死傷ニ到ル」5

年以下の懲役または禁固、50万円以下の罰金。以前は、業務上注意を怠りてとあるが、山登りでは業務上といつても仕事でやっているわけではなく、趣味でやっているもので業務上では無いと言われていたが「業務とは人がその社会生活上の地位に基づき継続して行う業務で、他人の生命身体に対する危険を含む」と記されている。例えばドライブに

中高年登山は安全で楽しく有意義に

中高年安全登山

指導者講習会報告 ⑤

理事 田 辺 信 行

8 低体温症

低体温症は、「産生する熱 失われる熱」の時、低体温に傾き始め、ついには低体温症となる。いかなる季節、いかなる場所、いかなる標高でも起こり得ます。

山では、気温が150mごとに1℃下降し、風が吹けば体温の喪失は風速の2乗に比例します。また、激しい運動で熱量を必要とするのに不足すれば低体温に傾きます。

素が少ない高所では、この警告反応がうまくいかず、低体温症に陥り易くなりま

す。この状態で動きすぎると、エネルギーを早く消耗

し、さらに条件が悪ければ低体温症に陥って死に至る

時間は非常に短い。

低体温症の対応としては、

まず、外気温を上げ、次に

湯タンポ(ホッカイロなど)

などで、皮膚温-深部温を

十分上げて、次に寝袋な

どに収容します。そうしな

いと、現時点の体温以上

に温度が上昇しない。温か

い飲み物はよいが、アルコールは抹消の血管が拡張して

ますます熱を放散させ、同

時に血液の浸透圧を上げ脱

水に陥ってしまいます。厳

禁です。

低体温症も予防が大切です。寒さ、風に合わせて、

こまめに衣服を身に着ける。

盲点となり易いのは、普段

外に出ている顔、頭、手、

足などで、頭部は体表面積

の約1割、手首よりうえ

も両腕で約1割ありますの

で軽視できません。女性は

脂肪が多く、寒冷に幾分有

利と考えられるが、腕など

に丸みがあり体表面積大と

いう弱点もあります。

濡れることは体温を奪う

ので、汗を外に逃がし、外

からの水分(雨など)は肌

に付かないようにしなければ

なりません。フードを被っ

たり、長袖を着たりしまし

よう。

低体温症も防ぐためにも

食事をしっかり取り、休む

ときこまめに食べ、水分も

十分取ることが必要なこと

をご理解いただけたこと

でしょう。

9 熱中症

正常人の体温は、口内で

37℃、腋下で36℃、子供で

は成人より高く、同じ人で

も午前中は低く、夕方は高

くなる。女性ではこの日内変

動が男性より小さい。筋肉

を動かすことと、肝臓内の

化学変化によって熱が発生

し、大部分が皮膚から放散

される。放散する熱の量は、

皮膚の血管が収縮したり拡

張したりすることで調節さ

れる。また、発汗は放熱に

有効で1グラムの水(汗)

が蒸発すると5800カロリーの熱を奪う。体温調節中枢

は視床下部にあり、蓄熱に

傾かせると、放熱に傾か

せるのに分かれていきます。

放熱中枢が侵されると、体

温を下げるのが難しくな

ります。

熱中症(高温による障害)

体温の上昇 なし

←

口渇、脱力感、頻脈1日

射病、熱疲労↓涼しい環

境に置く↓水分塩分の供給

(つづく)

中高年登山教室案内

期日 95年9月9日(土)〜

10日(日)

会場 金北山〜ドンデン山

宿泊 佐渡フィッシャーズホ

テル

日程 9月9日(土)

11時 集合 新潟港佐

渡汽船待合室

12時10分 出航

14時30分 両津港着 乗換

15時30分 宿舎着

9月10日(日)

5時40分 宿舎出発

8時 金北山着

13時30分 ドンデン山

14時10分 両津港着

15時10分 出航

17時30分 新潟港着

17時50分 解散

人員 92名

参加費 17000円

申込 郵便振替(振替料 申

込者負担)

006800886090

中高年登山委員会

締切 7月25日まで

後援 県教育委員会他5機関

SSFスポーツエイド助成

問合せ 映彩山岳会 坂井 厚

0250(62) 6647

連絡

①分担金を至急納入願います。

郵便振込

0066009118183

加入者 新潟県山岳協会
銀行口座 第四銀行長岡東
支店 1116600
名義 新潟県山岳協会
②文部省編集「楽しい登山・
中高年の安全な登山のため
に……」の本1冊882円
希望の団体は事務局へ申込
用紙を請求してください。
日山協へ各団体毎申込み
と本が送られてきます。

登山用品専門店

信頼できるパートナー

大新スポーツ

新潟市東堀6 ☎(025)222-3736